

すま すた芥を るし い  
 がせしこ文川同そよた極うな  
 ンかと学賞人れう光め方ら  
 要。しが者を誌がなのて法ば  
 点私、出「も側、「子大論、  
 のの言来と直の「認は胆にこ  
 み小うるし木力同「知、なの  
 をさはのて賞を人を芥提起「  
 記な易で、を合誌す川案ま光  
 し考しは自もわ文ベ賞にしよ  
 てえ行な信凌せ学きになよ子  
 みでういをぐて賞だもりう「  
 たははでも「結「と直ま。を  
 い覚難しつ真集な思木すど  
 と東しよてのすのう賞がう  
 思な、う世実るでもに、扱  
 いいかかに力なすのも折う  
 ま限も。送をら。で匹角か  
 すりしり供ばこす敵見、  
 。でれ 出え、れ。す出と

のし作ののなる明 所ずだ人ら作 に家「 論はおいの  
 でか品よ子いな日こに世か誌、品しあも広大にいりい方現  
 すなをう「、らはこしにらで私をかり素く手ないまの針文  
 。し掬にを<sup>あ</sup>ばあでて問こ行た世しま晴読出る「すだが壇  
 得い伸生<sup>る</sup>、る、いうそつちに、すらま版のとがろいの  
 な上びみ<sup>い</sup>大のこまこ、ては問。しれ社でし、うか内  
 いげる、<sup>は</sup>手かのすと個い、う いるのはか「かに外  
 のる細育<sup>掬</sup>出！稿。が々る自こ版 社で 変あれ、  
 でこいむ<sup>い</sup>取<sup>ろ</sup>うとさえ<sup>し</sup>こさ「  
 はと触こ<sup>ろ</sup>うとさえ<sup>し</sup>こさ「  
 なを手と<sup>う</sup>とさえ<sup>し</sup>こさ「  
 い行をが<sup>と</sup>とさえ<sup>し</sup>こさ「  
 かつ持出<sup>と</sup>とさえ<sup>し</sup>こさ「  
 、てち来<sup>る</sup>の<sup>し</sup>こさ「  
 とい、る<sup>の</sup>の<sup>し</sup>こさ「  
 強る広<sup>の</sup>の<sup>し</sup>こさ「  
 く同くは<sup>い</sup>の<sup>し</sup>こさ「  
 思人柔、<sup>の</sup>の<sup>し</sup>こさ「  
 う誌軟織、「出考誌  
 もにに毛光来えに

同人誌  
 文学賞の創設  
 海  
 第二期  
 有森信二

七 六 五 四 三 二 一 一  
 組 努 とめ 子 法 国 選 文 の 同  
 織 同 力 同 し に 同 媒 売 で 的 同 考 同 学 中 同 人  
 に 人 を 人 て 必 人 体 る 発 に 人 す 人 賞 か 人 誌  
 お 誌 行 誌 設 要 誌 等 こ 表 知 誌 る 誌 へ ら 誌 文  
 い 文 う 文 け な 文 で と し ら 文 ° 文 各 ` 掲 学  
 て 学 ° 学 る 組 学 も が ` し 学 学 四 真 載 賞  
 検 賞 賞 ° 織 賞 読 目 あ め 賞 賞 名 に 作 一  
 討 の は を を む 的 る る 受 は 程 優 品  
 す 運 ` ` 選 こ で い た 賞 ` 度 れ へ  
 る 営 繼 同 考 と は は め 作 原 ` た 自  
 ° 等 続 人 し が な 出 ` 品 則 を 作 費  
 ( 福 岡 県 太 宰 府 市 ) に す 誌 ` で い 版 こ は と 贈 品 出  
 つ る の 発 き の す れ ` し り に 版  
 い た 関 表 る で る を 出 て ` 対 作  
 て め 係 等 よ ` ° 効 来 ` 顕 し 品  
 は に 者 を う 例 果 る 年 彰 ` を  
 ` 特 を 行 に え 的 だ に す 同 含  
 五 段 中 う す ば な け 二 る 人 む  
 の の 心 た る 電 方 全 回 ° 誌 ` )  
 。